

外国語学習のめやすマスター研修_2014 夏_事前課題

作成者：押尾江里子

学習シナリオ

テーマ：日本とフランスにあるフェアトレード商品を比較しよう！

レベル：3

〈 場面状況 〉

対象生徒は在仏日本人学校にいる高校3年生である。読解の授業では教科書(INFOS Vol.1駿河台出版社)を利用してフェアトレードについての単元を終えた。フランスにしながらフランス語を学習できるという地の利を最大限利用できるよう、実際にフランスのスーパーでどのようなフェアトレード商品がどのような価格帯で販売されるか調査し、日本の現状と比較した内容をクラスで発表することにした。

〈 活動の流れ 〉

まず、教科書を用いてフェアトレードに関する言語材料について学習した。次に、教科書で学習すること以外にフランス人がどのようにフェアトレードを認識しているのか、フランスのニュース番組(TF1 20h)を見て補足的な情報を得、より複眼的にフェアトレードについて学んだ。

教室活動の後は、近くのスーパーに行きどのようなフェアトレード商品が扱われているのか調査をした。教科書やニュースで扱われていたフェアトレードに関する内容を参考に、①価格は同様の商品と比べてどれくらい高いのか、②生産地はどのような国が多いのか、③どのような商品がフェアトレードの対象になっているのか、④どのようなラベルが多く見られるのかを調査した。また、実際にフェアトレード商品とそうでない商品を購入して味を比べてみた。

調査の後に、スーパーで見かけたフェアトレード・ラベルについてwebサイトを利用して調べた。その際、フランス語の負担を軽くするため、1人1ラベルについて調べ、どのような団体が運営しているのか、扱っている商品は主にどのようなものなのか、ラベルの取得基準などを調査した。

冬休み中、生徒たちは日本に帰国するため冬休みの課題として日本におけるフェアトレードの認知度、商品、ラベルの数などを調査した。認知度は自分の身の回りの日本人(家族、友人など)に訪ね、商品については地元のスーパーに行ってどのような商品があるのかを調べ、各自レポートにまとめた。

冬休み明け、webサイトで調べたフェアトレードのラベルについて冬休みの課題をクラスで発表し、感想をシェアして日本とフランスでフェアトレードの認知度や扱っている商品の種類などについてその異同や、違いの理由を話し合った。

テーマ名: 日本とフランスにあるフェアトレード商品を比較しよう!

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアトレード商品やその歴史に関する言語材料がわかる。 フランス語の文章におけるパラグラフ構成がわかる。 専門用語における英語との対訳の関係に気がつくことができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアトレードが生まれるまでの背景を理解することができる。 フランスではどのようなフェアトレード・ラベルがあるのか発見することができる。 フランスのスーパーではどのようなフェアトレード商品が扱われているのか、さまざまな商品を見ながらその主な産地を発見することができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 流通のグローバル性に気がつくことができる。 自分の購入する商品が様々な国の労働者の労働環境や地球環境と直結していることを理解することができる。 グローバル社会の中で情報の収集・分析をするスキルを身に付ける必要性が理解できる。
できる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアトレードに関する文章を読み内容を理解することができる。 フェアトレード商品のラベルを見て必要な情報を得ることができる。 スピーチの概要や要点に集中してリスニングをすることができる。 フランス語で書かれたサイトから必要な情報が収集できる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> フランスではなぜ扱われているフェアトレード商品が豊富なのか知的な推測をし、自分の考えをまとめることができる。 日本で扱われているフェアトレード商品と産地や商品分類などを比較し、その共通および相違を分析することができる。 フェアトレード商品の共通する付加価値(エコなイメージ)を通常の商品と比較しながら気がつくことができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ物学習においてクラス全体の目標を達成するために、自分の役割を責任もって果たすことができる。 クラス全体の課題の遂行のために、情報を解釈・分析・吟味して発表内容をまとめることができる。 Webサイトの内容を目的に応じて、適切かつ効果的に活用することができる。
つながる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の生徒の発表に関心を持ちながら聴き、理解することができる。 他の生徒の発表に質問をすることができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p>
三連携	<p>シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の生徒と発表を通じて繋がる。 	
	<p>シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会科を中心とした他教科の既習事項と繋がる。 スーパーに行くという日常の経験と学習内容が繋がる。 	
	<p>シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書での学習内容を基礎としてテレビニュース、Webサイトの情報、スーパーで得た情報が繋がる。 	